

GrantFootballClub

ボルトガル語 ~叶える~

夢を叶える、叶える力を育てる

夢を叶えようとする子ども達を応援する

指導理念

～個だわり～

次のカテゴリーでも通用する個の育成

チームという、器あつての選手ではなく、選手一人一人の個性が集結した力によって育成される、心・技・体。個性を引き伸ばすために展開される自助、協助。

それが、Grantがこだわる「個の強さ」 すなわち「個だわり」

人間力、社会協働力

サッカーは一人ではできません。仲間がいて、相手がいて、審判がいて、サポーターがいます。同様に、日々の生活の中でも自分には多くの人が関わっている事をサッカーを通して知り、リスペクトできる心を育てたいと考えています。

集団の中で自分のパフォーマンスを常に発揮できる。キャプテンシーを持って集団を リードできる。そんな個の強さにこだわります。

個の技術

ボールを体の一部のように操る。簡単にボールを失わない。そのような1対1の強さにこだわります。ジュニア年代での試合形態は、今後8人制がほとんどとなりますが、日本サッカー協会が8人制を導入したひとつの狙いは、～個の強さ～です。

Grantでは、目先の勝利だけではなく、次の年代、様々なチームで活躍できる選手の育成にこだわります。

自分の個性を見極めることで、判断のできる選手を育てる

Grantでは、同じ様なタイプの選手を育てようとは考えていません。

合い言葉は…？

自分のストロングポイントを作ろう！

ドリブルが得意、シュートが強い、足がはやい、パスが得意、ヘディングが強い、そんな自分の得意な事を見つけられる選手を育成します。自分のストロングポイントを理見極めている選手は、自信を持ってプレーします。自信を持ってプレーのできる選手は、自分で判断ができるようになります。サッカーにおいて判断は最も重要です。ピッチの上で自信を持って判断できるプレーヤーの育成にこだわります。

6年間かけての育成

*キッズ・1～2年生 サッカーとの出会い…。

サッカーって楽しいな。
ボールを蹴るのが楽しいな。
ゴールを決めるのが楽しいな。
試合に出場したいな。
自然とサッカーボールで遊べるようになることが目標です。

*3～4年生 飛躍の年代、本当のサッカーの楽しみを知る…。

この年代は勝ち負けを意識できる年代となってきます。試合を通し、勝つ喜び、負ける悔しさを知ること、より自らサッカーを追求したくなる様導きます。
この年代では、個人戦術をベースに基本技術の磨きをかけ、「判断」の引き出しを増やします。
アイデアの引き出しを多く持ち、サッカーを理解することで、より良い判断のできる選手に育成することが目標です。

*5～6年生 チームで目標を明確にし、個とチームが融合する年代

サッカーの原理原則を理解し、互いのストロングポイントを生かしながらゲームに取り組みます。ボールを持っていない時間(オフザボール)でのポジション取り、動き出しのタイミングなどを追及していきます。基本的な戦術の上で原理原則に基づいて選手自身がより良い判断ができるよう導きます。

サッカー選手の前にひとりの人間であれ

サッカー選手は、ピッチの上でだけ、ルールを守っていれば良いわけではありません。～オフザピッチ～という言葉がある様に、サッカーの場だけではなく、社会の中で自立できる人間力の育成にこだわります。

自立した選手になる為に、Grantでは3つの約束を選手達と交わします。

- 感謝の気持ちを持ち、挨拶のできる人間
- 自分の事は、自分でできる人間
- 仲間を思いやり、積極的に社会に貢献できる人間

この3つの約束を、しっかり果たそうとする事で、自立した人間、本当に強い人間に成長できるよう、育成に個だわりしたいと思います。



【主な出場大会】

U-12

全日本 U12 選手権

東京都三井リハウスリーグ(年間リーグ)2チームエントリー 東京都サッカー協会主催

日野市春季 CUP

その他、近隣市町村招待大会、各種企業、チーム主催大会

U-11

JA 東京カップ(男子、女子チーム) 東京都サッカー協会主催

スーパーリーグ TOKYO

日野市法人会長杯

その他、近隣市町村招待大会、各種企業、チーム主催大会

U-10

ハトマークフェアプレーCUP 東京都サッカー協会主催

日野市 J:comCUP

その他、近隣市町村招待大会、各種企業、チーム主催大会

U-9

TOMAS 交流大会(男子・女子チーム) 東京都サッカー協会主催

その他、近隣市町村招待大会、各種企業、チーム主催大会

U-8.7

日野市キッズリーグ

その他、近隣市町村招待大会、各種企業、チーム主催大会

大会に臨むメンバー編成

Grant では大会に参加するチーム編成はレベル分け編成となります。

技術レベル、判断基準、活動参加率をベースに日常のトレーニング、活動よりセレクトします。

競争心の持てるメンタリティも大切な要素となります。

注) チーム編成につきましては、その判断はクラブに一任して頂きます。

